

2 地域における生命を大切にする指導

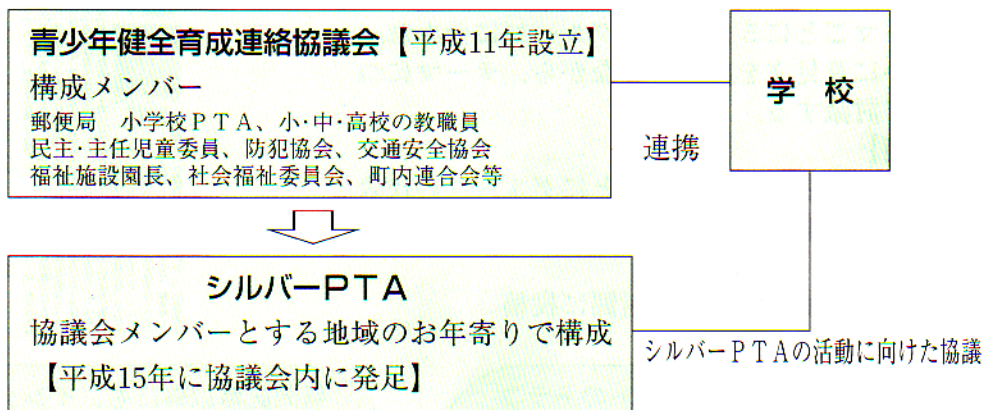
地域で子どもを育てる取組例

本事例は、地域の子どもたちの健やかな成長や安全確保のため、学校と地域の青少年健全育成連絡協議会が連携し、地区内の危険箇所を示す「安全マップ」を作成し、全世帯に配布するとともに、地区の巡視活動を行った実践です。協議会のメンバーが中心となって「シルバーPTA」を発足させ、学校・家庭・地域の連携の下、子どもたちの登下校時に合わせて通学路を散歩しながら巡回し、安全・安心なまちづくりに積極的に取り組むなどの工夫をしています。

子どもの
安全確保
と健やか
な成長目
指した取
組

(1) 学校と青少年健全育成連絡協議会との連携

《21世紀を担う子どもたちの健やかな成長を願う活動》



【主な活動】

- 巡視活動—地域の小・中・高等学校の安全指導への支援
- 地域の学校と連携を図りながら、危険箇所を示す「安全マップ」の作成・配布（全世帯）
- 通学路における不審者対策
- 子どもたちの非行防止に向けた町内巡視
【平成14年に22件の不審者情報】
- 子どもたちとシルバー世代との交流促進
- 地域のよき風習、伝統的な技能の伝承など
- 高齢者の健康増進、生きがいづくり

地域の子どもは
地域で育てる



異世代交流の推進

(2) 異世代交流の推進と安全・安心なまちづくり

①子どもたちとシルバーPTAのふれあい活動

子どもたちと高齢者との交流として、人と人とのマナーの基本である「あいさつ運動」を登下校の時間帯に合わせて実施しています。活動を始めて数か月経過した頃から、お年寄りと児童生徒がお互いに顔なじみになり、会話も弾むようになったことから、シルバーPTAを百人一首などの行事に招待するなど、子どもたちとお年寄りの交流がさらに拡大しています。

②「子どもたちの安全確保」

不審者情報が多発したことから、教育委員会や学校、警察などと十分に連携を図りながら、朝夕の自分の都合の良い日や時間帯に腕章を着用し、地域の様々な場所で散歩しながら巡視したり、車に「安全巡回中」のステッカーを貼ってもらったりするなど、不審者対策と交通安全に努めています。

また、年間3～4回程度、学校やPTAが行う生徒指導に関する会議において、学校外での子どもたちの行動や不審者の状況等について、報告するなどして情報交換を行っています。

安全・安心なまちづくり

子どもたちの声

- ・いつも私たちのことを見守ってくれてありがとう。
- ・皆さんのおかげで、不審な人がいなくなり、安心して通学できます。
- ・あまり無理をしないで、いつまでも元気でがんばってください。

シルバーPTA会員の声

- ・子どもたちの笑顔を見ていると、元気が出てきます。
- ・自分の孫が増えたようで、毎日が楽しい。まだまだ社会の役に立っていると、感じています。
- ・今後、高校生や青年とも一緒に「あいさつ運動」の活動を実施したいと思います。

◆実践のポイント◆

情 報 の 共 有

学校行事や不審者などの情報を共有することにより、子どもたちの安全確保に取り組むとともに、異世代交流を促進し、安心なまちづくりに努めています。

地域の人たちとのふれあい

高齢者を中心とした地域の人たちとふれ合うことにより、子どもたちに他人を思いやる豊かな心や自他の生命を大切にする気持ちを育てるよう工夫しています。